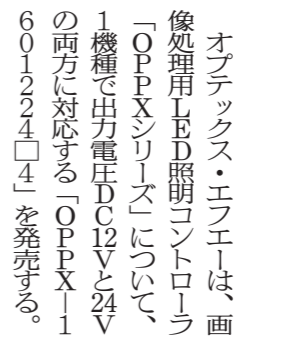


新製品・サービス

多機能LED照明コントローラ 出力12/24V両対応



オプテックス・エフェー



OPPX-1601224E4

これまで入力電圧の異なる照明を1台で... 対応可能。調光も、汎用照明で利用される「PWM調光」、ライン照明に最適な「定電圧調光」、高輝度発光が可能な「ストロボ」に対応する「OPPX-1601224E4」を発売する。



D1225R

ニテック 静音ファン IP68防塵防水

ニテックのファンは、2chの構造、1台でなる照明の場合、その対応可能。調光も、汎用照明で利用される「PWM調光」、ライン照明に最適な「定電圧調光」、高輝度発光が可能な「ストロボ」に対応する「OPPX-1601224E4」を発売する。



超扁平アクチュエータ

超扁平アクチュエータ... 長寿命ファン、高静圧と風量、山洋電機

オリエンタルモーター

中空ロータリーアクチュエータ ACサーボモーター搭載



オリエンタルモーターは、中空ロータリーアクチュエータ「DGIIシリ」に「ACサーボモーター」を搭載し、追加発売した。

「スター駆動の高速・高トルクで、移動量が多い位置決め用途や連続運転の用途に最適。基本操作は、ACサーボモーターと同じで、同一の装置内で併用も容易。また、モーターをケーブルで接続し、ケーブルを短縮したACサーボモーターを搭載したACサーボシステム

コネクタタイプギヤード4種追加

「GSTEP」AZシリ... 4種追加

TDKラムダ 直流安定化電源 業界最小7.5kWモデル

TDKラムダは、真流... 業界最小7.5kWモデル

72mm小形ボデー デジタル逆電カリレー

第一エレクトロニクス... デジタル逆電カリレー

San Ace 40L 9LGタイプ

San Ace 40L 9LGタイプ



新規客の訪問も「最初が肝心」 社交辞令は気持ちを和ませる

「何事においても最初が肝心」である。最初は大事だから、小事といえども軽たし敬ってはいけないという意識である。これをさらに深読みすると、何をやるにも最初が肝心なエネルギーを使わなければならない。

だからといって、最初から馬力を出しても空回りしてしまふ。だからその大きなエネルギーを細心の注意に向けなければならない。事がうまく進まなくなれば、力のかけ方が分かるので力任せの馬力を出しても事はうまく進まなうという解釈ができる。

はいえ、断られる不安は大変なものでした。断られる不安を払拭しようとして全力を出すと、どうしてもFAの市場がスタートした昭和の頃は、現在とは違っ

「何事においても最初が肝心」である。最初は大事だから、小事といえども軽たし敬ってはいけないという意識である。これをさらに深読みすると、何をやるにも最初が肝心なエネルギーを使わなければならない。

「何事においても最初が肝心」である。最初は大事だから、小事といえども軽たし敬ってはいけないという意識である。これをさらに深読みすると、何をやるにも最初が肝心なエネルギーを使わなければならない。

「何事においても最初が肝心」である。最初は大事だから、小事といえども軽たし敬ってはいけないという意識である。これをさらに深読みすると、何をやるにも最初が肝心なエネルギーを使わなければならない。

「何事においても最初が肝心」である。最初は大事だから、小事といえども軽たし敬ってはいけないという意識である。これをさらに深読みすると、何をやるにも最初が肝心なエネルギーを使わなければならない。

「何事においても最初が肝心」である。最初は大事だから、小事といえども軽たし敬ってはいけないという意識である。これをさらに深読みすると、何をやるにも最初が肝心なエネルギーを使わなければならない。

「何事においても最初が肝心」である。最初は大事だから、小事といえども軽たし敬ってはいけないという意識である。これをさらに深読みすると、何をやるにも最初が肝心なエネルギーを使わなければならない。

「何事においても最初が肝心」である。最初は大事だから、小事といえども軽たし敬ってはいけないという意識である。これをさらに深読みすると、何をやるにも最初が肝心なエネルギーを使わなければならない。

「何事においても最初が肝心」である。最初は大事だから、小事といえども軽たし敬ってはいけないという意識である。これをさらに深読みすると、何をやるにも最初が肝心なエネルギーを使わなければならない。

「何事においても最初が肝心」である。最初は大事だから、小事といえども軽たし敬ってはいけないという意識である。これをさらに深読みすると、何をやるにも最初が肝心なエネルギーを使わなければならない。

「何事においても最初が肝心」である。最初は大事だから、小事といえども軽たし敬ってはいけないという意識である。これをさらに深読みすると、何をやるにも最初が肝心なエネルギーを使わなければならない。

「何事においても最初が肝心」である。最初は大事だから、小事といえども軽たし敬ってはいけないという意識である。これをさらに深読みすると、何をやるにも最初が肝心なエネルギーを使わなければならない。

「何事においても最初が肝心」である。最初は大事だから、小事といえども軽たし敬ってはいけないという意識である。これをさらに深読みすると、何をやるにも最初が肝心なエネルギーを使わなければならない。

3Dプリンターを1人1台の時代に A.switch Membership Model

GENESYS+7.5kW

ケーブル分配を360度に展開 icotek smart cable management

電気接触は、WashiON 共立継器におまかせください。商品ラインナップを強化し、お客様のニーズに応えます。お客様の「希望納期」にて対応します!!

オートメーション新聞WEB URL付き記事はこちらから→https://www.automation-news.jp/category/topics/

FA業界掲示板

■三菱電機、Youtubeで名古屋製作所新城工場の工場見学動画を公開 三相モータの製造工場

三菱電機は、Youtubeの「MITSUBISHI ELECTRIC Factory Automation」チャンネルで、三相モータの製造工場である名古屋製作所新城工場の工場見学動画「【工場見学】三菱電機「三相モータ」ができるまで」を公開した。



三相モータはインフラ設備からテーマパークまで、幅広く装置の動力源として使用されており、同社の伝統の生産技術とe-Factoryを用いた最先端の生産技術の融合を映像で紹介している。

■三菱電機、家電リサイクルで回収した再生プラスチックをセンサー用無線通信端末に初採用

三菱電機は、家電リサイクルで回収したポリカーボネート系プラスチック(PC/ABS)を耐久性と難燃性を確保したプラスチックとして再生化することに成功し、ガス検針システム等に活用が進められているセンサー用無線通信端末に採用した。これによりセンサー用無線通信端末の部材での新規使用プラスチック量を約70%削減した。

■安川電機、7月5日～「ロボット産業マッチングフェア北九州2023」出展

安川電機は、7月5日から7月7日まで西日本総合展示場新館(北九州市小倉北区)で開催される「ロボット産業マッチングフェア北九州2023」に出展する。ブース(R-01)では、ロボットの最新技術や産学官連携の取り組みなどについて紹介するほか、人協働ロボットの操作を体験できるコーナーも設置する。

主な展示品は、いちご選果ロボットによるデモ、【新製品】MOTOMAN-Craft、人協働ロボットMOTOMAN-HC10DTPハンドキャリアタイプ操作体験、産業用ロボットMOTOMAN、人協働ロボットMOTOMANシリーズ展示、ACサーボドライブΣ-Xシャープン芯回しデモ機、エコPMモータフラットタイプ、安川インバータでできる省エネ事例紹介、【新製品】自家消費型太陽光発電用パワーコンディショナEnewell-SOL P3Aなど。

■ユニバーサルロボット、中部・九州地域の販売・サポート体制を強化

ユニバーサルロボットは、販売代理店として中央工場(愛知県名古屋)と契約を締結し、認定システムインテグレーター(SIer)として、中部地域のマクスエンジニアリング(愛知県名古屋)と日昇オートメ(岐阜県各務原市)、九州地域の協和商工(福岡県福岡市)とマイスティア(熊本県上益城郡)を新たに認定し、中部・九州地域における販売・システム構築サポート体制を強化した。

■オプテックス・エフエー、12月15日まで印字検査セット割引キャンペーンを実施

オプテックス・エフエーは、2023年12月15日まで、印字検査用画像センサGVS-OCRシリーズを特別価格で提供する「印字検査セット割引キャンペーン」を実施している。



カメラ1台セットの「トライアルセット」は、カメラ1台と電源ケーブル1本、モニター1台、モニタ通信ケーブル1本のセットで34万8000円。さらに各種ビジネスグッズとの交換やネットショ

ップで利用できるFAポイントを1万ポイント進呈。9月末までに注文すると、さらに1万ポイントを加算する。

■TDKラムダ、電源を簡単に選定するための「スイッチング電源セレクションガイド」をリニューアル TDKラムダは、多彩な形状と幅広い電力ラインアップのスイッチング電源を展開しており、用途に応じた最適な製品を選定するためのWEBサイト「スイッチング電源セレクションガイド」をリニューアルして公開した。画面上の選択肢を選択していくことで最適な製品が出てくるようになっている。

■コンテック、技術コラム「計測制御分野におけるAI(人工知能)の活用」公開

コンテックは、技術コラム「計測制御分野におけるAI(人工知能)の活用」を公開した。認知度が広まってきており、さまざまな企業で活用されつつあるAI(人工知能)について、製造現場でもAI(人工知能)を用いて自動化による生産性の向上など様々な課題を解決することが期待されるなか、AI(人工知能)の計測制御分野での活用についてサンプルプログラムを例に解説している。

■ルネサス、オーストリアの無線特化の半導体メーカー・Panthronics社の買収完了

ルネサスエレクトロニクスは、オーストリアの高性能ワイヤレス製品に特化したファブレス半導体企業Panthronics AGの買収を完了した。あわせてルネサス製品とPanthronics社のNFC技術で構成されたソリューション「ウィニング・コンピネーション」の提供を開始した。スマートNFCアクセス制御システム、モバイルPOS端末、電気自動車(EV)充電器用高性能ウォールボックス、従量制電気自動車(EV)充電ステーション、単相電力メータ、グリーン産業革命に向けた3相スマート電力メータ、シングルボードコンピュータ、高性能ヒューマンマシンインターフェース(HMI)システム、ホームアプライアンス用ヒューマンマシンインターフェース(HMI)ソリューション、IoT通信ゲートウェイハブ、超低消費電力Wi-FiとBluetooth Low Energy搭載のスマートロック、個人用安全トラッカー、NFC認証を備えたプリンタコントロールパネルの13種類。

■日立産機システム、ファクトリーエネルギーマネジメントのブランド名を「SANFEMS neo」に 日立産機システムは、同社が提供するファクトリーエネルギーマネジメントに関するシステムとソリューションの事業ブランド名を、日立産機システムのSANとFactory Energy Management Systemの頭文字を組み合わせた「SANFEMS neo(サンフェムスネオ)」に統一した。

これまで配電・ユーティリティ監視システム「H-NET(エイチネット)」、特高受変電設備監視制御システム「ES-MACS(イーエスマックス)」、工場エネルギーのトータル監視システム「SANFEMS(サンフェムス)」、欧州を中心とした顧客協創型エネルギー削減ビジネス「H-Vision(エイチビジョン)」を展開してきたが、今後はこれらを「SANFEMS neo」に統合する。

■ポッシュレックスロス、インバータ納期問題に対して国内在庫で対応可能

ポッシュレックスロスは、いまま続クインバータの納期問題に対し、グループのネットワークを通じての部品調達等を活かし、国内在庫を持って安定供給を可能にしている。同社は、単相200V(定格容量0.4~2.2kW)、3相200V(0.4~11kW)、3相400V(0.4~160kW)の最大160kWまでの幅広い製品ラインアップを揃え、オプション製品も産業用イーサネット規格、I/Oインターフェースに対応できるオプション・モジュールを用意し、さまざまなアプリケーションに対応が可能。

セミナー・イベント情報

■ユニバーサルロボット、7月26・28日に愛知県でプライベート展「UR協働ロボットフェア2023」。トヨタ事例講演も

ユニバーサルロボットは、7月26・28日にウインクあいち(愛知県産業労働センター)でプライベート展示会「UR協働ロボットフェア2023」を開催する(参加無料)。

特別講演では、トヨタ自動車株式会社モノづくりエンジニアリング部要素技術開発室主任門脇岳史氏(トヨタ自動車ロボット連絡会事務局)による「トヨタ自動車における協働ロボットの安全対策(リスクアセスメント)と使い組付等活用事例の紹介」、愛同工業代表取締役社長渡辺裕介氏による「協働ロボットと共存共栄する社会に向けて-50台以上の協働ロボットを導入した中小製造業におけるの取り組み-」、カヤパオートモーティブコンポーネンツ事業本部サスペンション事業部生産技術部長西井一生氏による「実装工程におけるURロボットを用いた省スペースな自動化の取り組みについて」を実施。このほか、協働ロボットと周辺機器・ロボットシステムの最新情報に加えて、ユーザーによる特別講演、セミナープログラム、個別相談会、体験コーナーなど豊富なコンテンツを用意している。

■EPLAN、7月11日ウェビナー「ワイヤハーネス設計 EPLAN Harness proDデモセミナー」

EPLANは、7月11日10時30分からウェビナー「ワイヤハーネス設計EPLAN Harness proD製品デモセミナー」を開催する。機械設計からデータを取り込み、Harness proDでハーネス設計を行い、電気設計データと連携していること、していなくてもできること、設計変更があった場合どうなるのかなどデモを通して紹介する。参加無料。

■オプテックス・エフエー、7月11-14日ウェビナー「オンライン研修WEEK2023」。受講エンタリー開始

オプテックス・エフエーは、7月11日から14日にかけて行うウェビナー「全6講座FAの基礎がよくわかる! 新人・新担当向け オンライン研修WEEK2023」の受講受付を開始した。画像センサの基礎講座、変位センサの基礎講座など全6講座を予定し、これからFAセンサ・非接触温度計・画像センサ・画像処理用照明を使う人、あらためて基礎知識を学びたい人にとって分かりやすい内容となっている。参加費無料。

移転・オープン

■ミマキエンジニアリング、ベトナム販売子会社を設立

ミマキエンジニアリングは、ベトナムに販売子会社「MIMAKI VIETNAM CO.,LTD.」を設立した。これまでベトナムはシンガポール販売子会社が担当していたが、ベトナム国内市場の成長を鑑みて開設。現地で販売店のネットワーク強化やサービストレーニング、ユーザーサポート等を行い、さらにデモセンターとしての機能も持たせて販促に取り組む。

人事

■オムロンエフエーストア新社長に下小牧氏、オムロンスイッチアンドデバイス新社長に大東氏

オムロンは関係会社の人事異動を発表した。オムロンエフエーストアの新たな代表取締役社長に、現オムロンインダストリアルオートメーションビジネスカンパニーソリューション営業本部の下小牧義文氏が、オ

ムロンスイッチアンドデバイスの新たな代表取締役社長に、現オムロンオートモーティブエレクトロニクスイタリア代表取締役社長の大東博之氏が就任した。

■IDEC、取締役上席執行役員に松本崇雄氏

IDECは、取締役・執行役員人事を発表した。常務執行役員生産・北米事業担当IDEC CORPORATION Director APEM Inc. (USA) Presidentの松本崇雄氏が、6月16日付で取締役上席執行役員生産・購買SCM・北米事業担当IDEC CORPORATION Director APEM Inc. (USA) Presidentに、執行役員APEM担当Marc Enjalbert氏が、7月1日付で執行役員APEM・生産担当となる。

価格改定

■指月電機製作所、電力用コンデンサ設備と関連機器の価格改定

指月電機製作所は、2023年8月1日から電力用コンデンサ設備と関連機器について15%増の価格改定を行う。対象機器は、高圧進相コンデンサ(油入式・ガス封入式)、高圧進相コンデンサ用直列リアクトル(油入式・乾式モールド)、低圧進相コンデンサ(油入式・乾式)、低圧進相コンデンサ用直列リアクトル(乾式)、サージ吸収用コンデンサ・接地補填用コンデンサ、放電コイル(高圧用・低圧用)と付属品、低圧進相コンデンサ設備(LBシリーズ・V-Pac)、高圧進相コンデンサ設備(Q-PACシリーズ)、高調波フィルタ(アダクティブフィルタ・LCフィルタ)、瞬時電圧低下補填装置(SBシリーズ・VBシリーズ)。

■東芝、配電用変圧器等の価格改定

東芝インフラシステムズと東芝産業機器システムは、2023年7月1日から配電用変圧器等の価格を改定する。対象機種と価格改定率は、トッパンナー油入変圧器2014Sシリーズ、トッパンナーモールド変圧器2014TOSMOLDTM NFシリーズ、指定付属品とこれら以外の受注生産対応機種、高圧進相コンデンサ、直列リアクトルと指定付属品が30%値上げとなる。

■バトライト、回転灯・表示灯や電子音報知機など価格改定

バトライトは、7月1日注文受付分から、回転灯・表示灯や電子音報知機などの価格を改定する。対象製品と改定率(カゴ内)は、回転灯・表示灯SF/SKH/SKP/SKS/SL(5%)、ネットワーク対応製品NH-FB/NHB/NHV/LA6POE(10%)、ワイヤレス・データ通信システムWD(20%)、電子音報知機(光一体型含む)BD/BK/BM/EHS/LKEH/RFT/RT(10%)、音声合成報知機(光一体型含む)BDV/BKV/BSV/EHV/FV/LKEH-V/RFV、PV/RT-V/SPB/SPL/SPW(10%)、LED表示器VM96F(20%)、その他各種オプション品(10~20%)。

生産終了

■東洋技研、ボタンチューブ・クリアタイプ販売中止

東洋技研は、2023年7月28日の受注分をもってボタンチューブ・クリアタイプの販売を中止する。対象製品は、ボタンチューブ・クリアタイプTSK-10C、TSK-15C、TSK-20C、TSK-25C、TSK-30C、TSK-40C、TSK-50C、TSK-70C、TSK-100C。代替品はなし。

■篠原電機、NKB電線結束バンドの一部製品を生産終了

篠原電機は、2023年9月30日出荷分をもって、NKB電線結束バンド「NKB-140H」(梱包単位:100本/袋)を生産終了する。代替機種は、同じ仕様で梱包単位が1000本/袋のNKB-140。なおその他類似品のNKB-100HとNKB-190H(いずれも100本/袋)は今後も生産を継続する。

tu na ga ru

ユーエイ ツナガルシステム

Powered by
EnOcean
Self-powered IoT



IoT×キャスターが世界を変える

ツナガルシステム 特設サイトをチェック

\\ショールームできました!\\



IoTシステムを体験できるショールーム
YUEI Technology Center (YTC東京)
詳細はこちら!

キャスターの総合メーカー www.yuei-group.com

株式会社 ユーエイ

MADE in MARKET

現地で開発。現地で製造。

EASYTITE MECHATRONICS (WUXI) CO., LTD.

OTAX SHANGHAI LIMITED

OTAX KOREA CO., LTD.

OTAX CO., LTD.

OTAX ELECTRONICS (SHENZHEN) CO., LTD.

AUTOSYS INTELLIGENT EQUIPMENT CO., LTD.

OTAX SEIKI (GUANGDONG) CO., LTD.

OTAX HONG KONG LIMITED

OTAX ELECTRONICS (THAILAND) CO., LTD.

OTAX MALAYSIA SDN.BHD.

DIPスイッチ

スライド
ピアノ
ロータリー

操作スイッチ

トグル
ロッカー
押ボタン

金属加工関連

アルミニウム加工
MIM・精密ネジ

コネクター

各種コネクター
テストソケット

ヘルスケア

医療機器
ウェアラブル

端子台

FA用
エアコン用

otax オータックス株式会社

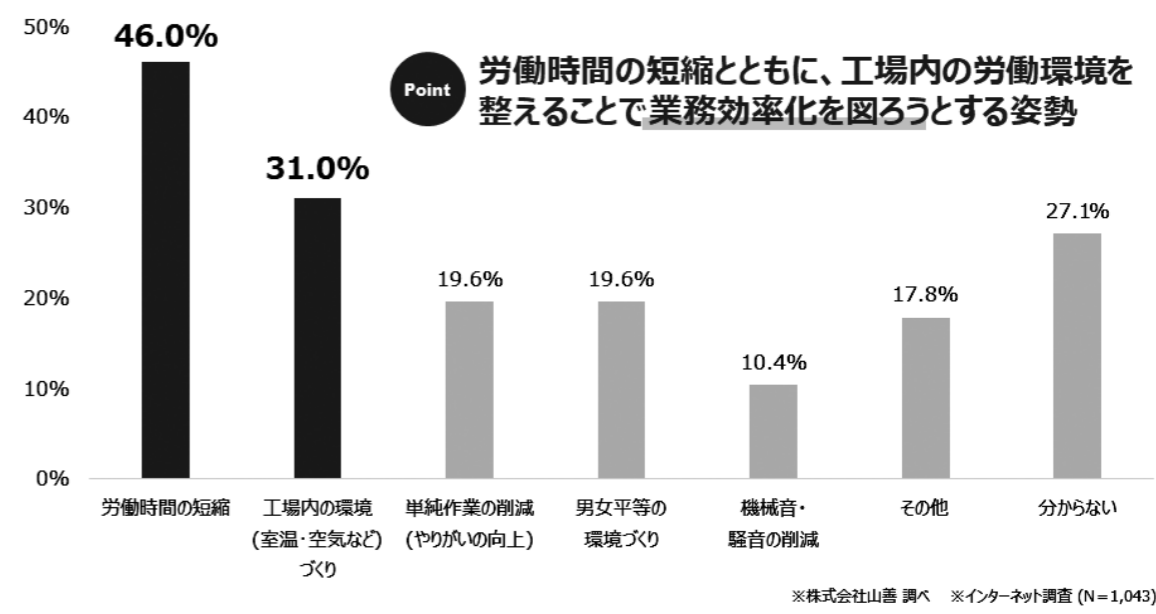
TEL : 045-543-5621
HP : www.otax.co.jp

本社 : 〒223-8558 神奈川県横浜市港北区新羽町1215

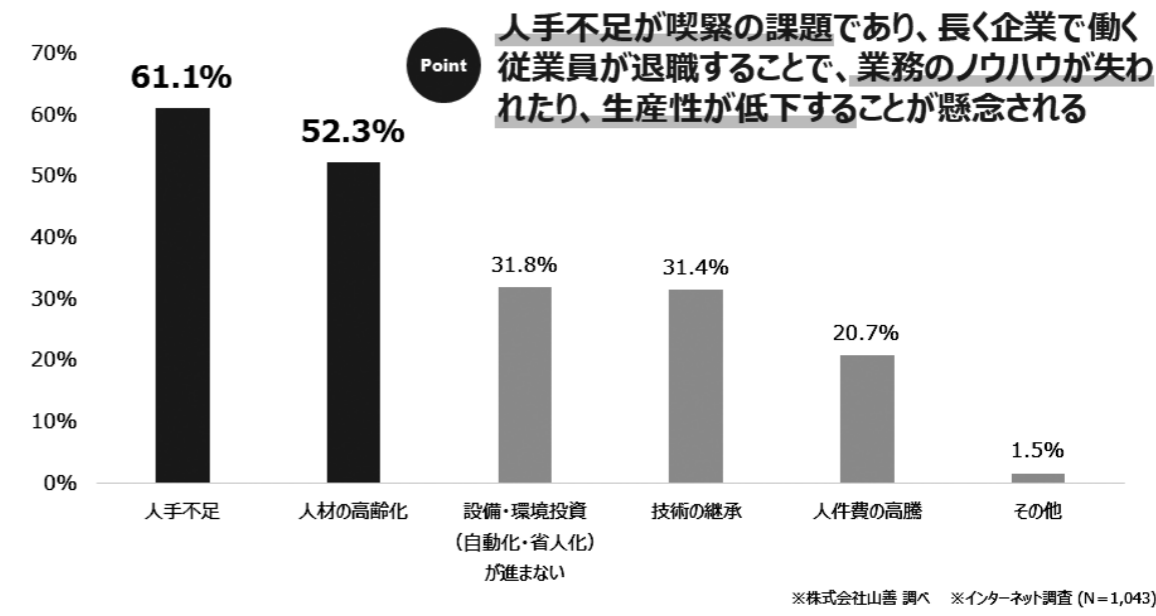
山善 自動化・省人化に関する実態調査

自社の現状「満足せず」7割超

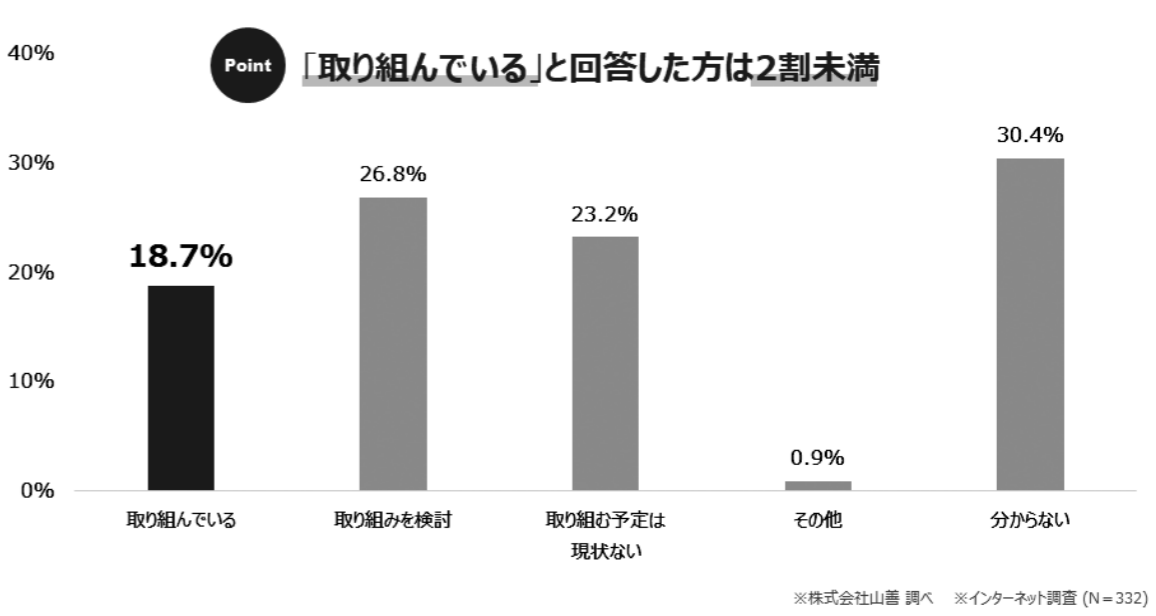
Q | 自社企業の働き方改革で求める改革を3つまでお答えください。



Q | 自社で抱える人材や設備に関する課題をお答えください。



Q | 自社で抱える人材や設備に関する課題対策の状況を教えてください。



山善は、製造業や建設業、物流業に従事する会社を対象に「自社の自動化・省人化の取り組みについて」の調査を行い、人手不足に対する業務効率化、自動化熱が高まる一方、その取り組みは鈍く、自社の自動化「満足せず」が7割超、目標進捗率30%以下も6割超という結果となった。

「目標進捗率30%以下」も6割超

「人材確保」(27.9%)、自動化に「取り組んでいる」(27.9%)、自動化に「取り組んでいない」(72.1%)と、72.1%の人が「満足していない」と回答し、「満足している」は18.1%にとどまった。

「取り組みを検討」(26.8%)、取り組む予定は現状ない(23.2%)、取り組んでいない(18.7%)と、72.1%の人が「満足していない」と回答し、「満足している」は18.1%にとどまった。

「取り組んでいる」と回答した方は2割未満

「取り組んでいる」と回答した方は2割未満(30.4%)、取り組みを検討(26.8%)、取り組む予定は現状ない(23.2%)、その他(0.9%)、分からない(18.7%)と、72.1%の人が「満足していない」と回答し、「満足している」は18.1%にとどまった。

「対応済み」16%にとどまる

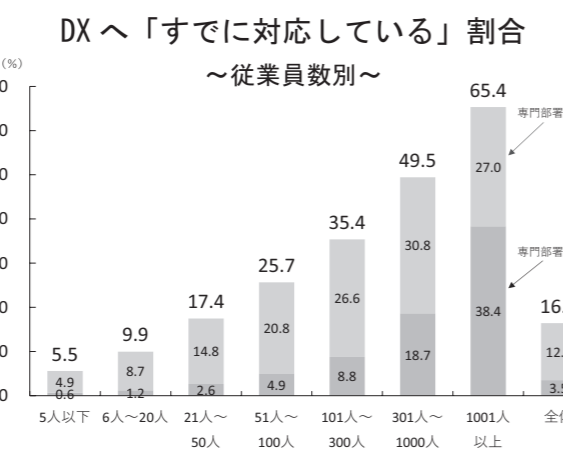
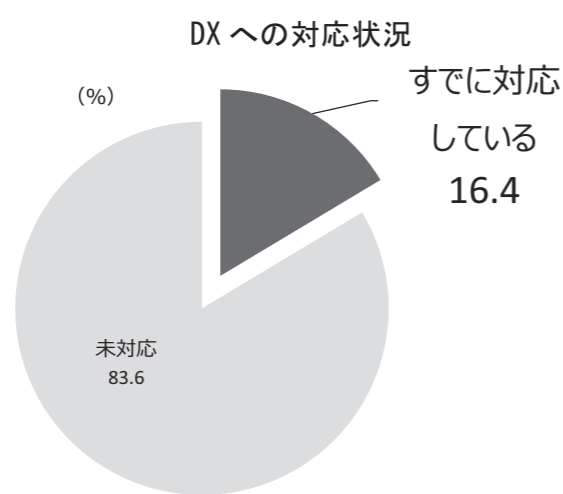
帝国データバンクは、「企業のDXへの取り組みに関する動向調査」を実施し、DX対応済みの企業は全体の16.4%にとどまり、規模別では、人手不足が深刻なほど対応は進んでいない。

帝国データバンク 企業のDX取り組み動向調査

「DXへの取り組み状況」について、「すでに対応している」企業は全体の16.4%、うち、専門部署を置いている企業は3.5%にとどまった。

「DXへの取り組み状況」について、「すでに対応している」企業は全体の16.4%、うち、専門部署を置いている企業は3.5%にとどまった。

中小企業ほど効果高いが普及せず



企業においても、DXに対応している企業は半数未満を促進している可能性も示唆され、デジタル技術の普及によってDXへの取り組みが促進される一方で、中小企業への支援策として、中小企業はデジタル化に関する施策を推進することが必要となる。

工場をいろいろな無線でつなぎます

WISE-4610 (LoRaWAN) WISE-4671 (NB-IoT/LTE-M)

ADANTECH Enabling an Intelligent Planet

ECU-1051(LTE/Wifi) ECU-150(LTE/Wifi) ECU-1252(LTE/Wifi/CAN) エッジゲートウェイ



WISE-4220(WIFI 2.4G) WISE-4210(SUB-G) WISE-4471(NB-IoT/LTE-M)

WISE-40XX (WIFI 2.4G)

WISE-S100 タワーライトセンサ後付け

WISE-2410(LoRaWAN) WISE-2410X(LoRaWAN) 振動センサ電池駆動型

WISE-2210(SUB-G) WISE-2211(SUB-G) WISE-2200-M(LoRaWAN) CT給電対応/アナログ入力

いろいろ選択可能な入出力を提供

アドバンテック株式会社 https://www.advantech.com/ja-jp/

[東京本社] 〒111-0032 東京都台東区浅草 6-16-3

TEL : 03-6802-1021 FAX : 03-6802-1022

[大阪支店] TEL : 06-6267-1887 FAX : 06-6267-1886 [名古屋支店] TEL : 052-241-2490 FAX : 052-241-2491

工場新設・増設、設備投資情報

オートメーション新聞WEB URL付き記事はこちらから→<https://www.automation-news.jp/category/factory/>

国内

■浜松ホトニクス、静岡県浜松市の都田製作所に新棟建設。LiDAR向けなど半導体レーザーの生産能力強化

浜松ホトニクスは、LiDAR向けをはじめとする半導体レーザーの生産能力を増強し市場拡大に対応するため、都田製作所(静岡県浜松市北区新都田1-8-3)に新棟を建設する。今回、都田製作所に新棟を建設し、事業所内に点在しているウエハプロセス以降の半導体レーザーの後工程を集約し、製造エリアを拡張することで需要の拡大に対応する。



新棟は製造工程間の作業動線を最適化し、最新の製造装置や検査装置を導入して工程の自動化や効率化を促進することで生産性向上を行う。耐震構造を採用し災害対策を強化し、断熱構造や太陽光発電設備、高効率機器などの環境対策を積極的に取り入れた設計とする。

2023年5月に着工し、2024年7月竣工予定。稼働予定2024年10月。鉄骨造、地上4階で、建築面積は1780平方メートル、延床面積は6720平方メートル。総工費は約40億円。

■JFEスチール、東日本製鉄所(千葉地区)のステンレス製造に電気炉プロセス導入してCO₂排出量を削減

JFEスチールは、スクラップ利用量拡大によるCO₂排出量の削減を目的として、東日本製鉄所(千葉地区)第4製鋼工場に新たにアーク電気炉を導入する。

千葉地区第4製鋼工場では、ステンレス鋼の製造を行っており、高炉からの溶銜と自所発生スクラップ、クロム鉱石やクロム含有ダストを主な原料とした製鋼プロセスを採用している。製鋼プロセスのCO₂排出量削減に向けた取り組みでは、さらなるスクラップの利用量拡大が有効であるとして、今回電気炉導入を決定した。高炉溶銜の一部をスクラップに代替することでCO₂排出量を削減。スクラップの溶解能力は従来比最大約6倍になり、CO₂排出量削減効果は最大約45万t/年を見込む。設備投資額は約150億円。稼働時期は2025年度下期(予定)。

■タカラスタンダード、千葉県八千代市の関東工場に4億円投資して浴槽生産能力を増強

タカラスタンダードは、約4億円を投資し、システムパスの主力工場である千葉県八千代市の関東工場第一工場にアクリル人造大理石浴槽のラインを増強する。

これによりアクリル人造大理石浴槽の生産能力は15%増加し、伸長するシステムパスの需要に対応していく。

関東工場では、樹脂成型品の画像検査装置をはじめ、デジタルピッキングシステム導入など品質の安定と生産の効率化に

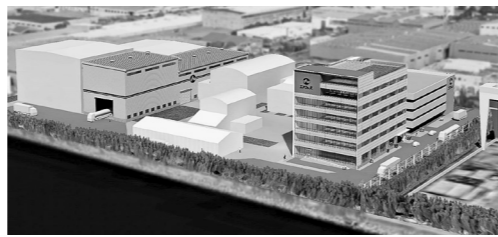
も取り組み、人造大理石製造ラインで使用する熱源を電気よりも熱効率の良いガスボイラー化することでエネルギーの効率化を図っている。今後もロボット導入などによる生産効率化にも取り組み、生産設備増強と合わせて需要増に対応していく。敷地面積は1万5792平方メートル。延床面積は8024平方メートル。

■東ソー、山口県周南市の南陽事業所にCO₂回収と原料化設備を新設

東ソーは、二酸化炭素(CO₂)を回収して原料として使用する設備を南陽事業所(山口県周南市)に設置する。同設備では、回収したCO₂を当社主力製品であるイソシアネート製品の原料として使用する計画で、CO₂回収量は年間約4万トン。2024年秋頃の運転開始を予定している。

■エア・ウォーター、大阪府堺市の堺事業所に総合エンジニアリングセンターと製缶工場を建設

エア・ウォーターは、産業ガスの供給に不可欠な技術領域であるエンジニアリング体制のさらなる強化を図るため、大阪府堺市の堺事業所(大阪府堺市西区築港新町2丁目6番地40)に、開発・設計・製作・運転・保守部門等を集約した総合エンジニアリングセンター(仮称)を建設し、同時に深冷空気分離プラントの製作を行う大型製缶工場の増築をする。



総合エンジニアリングセンターは、大阪市内の3カ所に分散していた産業ガスエンジニアリングに関連する部門をすべて集約し、社員同士の顔が見える間仕切りのないフロア構成としプロジェクトのスムーズな連携に加え、技術の高度化や業務効率の向上を図る。大型製缶工場は、工場の建物面積を拡張し、小型から大型までを含めた装置の製造能力を約2倍に増強。海外展開に対応するため、本製缶工場から直接、海上出荷ができるよう係留設備を設置する。

4月より着工し、2025年4月に稼働を開始する予定。建設面積は約1000平方メートル。延床面積は約6000平方メートル(事業所全体の敷地面積)約2万6450平方メートル。鉄骨造地上6階建。投資額は約60億円。

■日清ヨーク、関東工場と関西工場のライン増設して「ピルクル」シリーズの生産能力を増強

日清ヨークは、「ピルクル」シリーズの生産能力を増強するために約100億円を投資し、2024年の春に関東工(場埼玉県羽生市上村君堤根272)の製造ラインを増設し、2025年春に関西工場(兵庫県西脇市鹿野町124-5)に製造ラインを増設する。昨今の乳酸菌飲料市場の活況により、65mlタイプ商品の需要が急拡大しており、その対応のため。

■日本トレクス、愛知県豊川市にトレーラ生産の新工場を建設

極東開発工業のグループ会社である日本トレクスは、主力製品であるトレーラ生産の新工場を本社内(愛知県豊川市伊奈町南山新田350番地)に建設する。投資額は約40億円で、完成は2024年5月を予定している。

新工場は、トレーラの溶接と塗装を一貫ラインとすることにより現行の生産工程における高所作業を低減し、安全な作業環境を構築。各工程で自動化による省力化・省人化を推進し、塗装やショットプラストなどの重要工程をロボット化して生産能力を約40%向上する見込み。

また部品塗装を粉末塗装化することによりVOC(揮発性有機化合物)を年間約6.3トン(見込み)低減するほか、太陽光発電の設置によりCO₂排出量を年間約3.2トン(見込み)削減し、環境にも配慮した工場とする。建築面積は1万2008.8平方メートル。

■OSPホールディングス、福岡県北九州市の門司工場にフィルム製品専用新棟建設

OSPホールディングスは、フィルム製品専用工場として稼働している門司工場(福岡県北九州市)に新棟を建設する。

新棟は、生産体制の強化を目的とし、フィルム製品の安定した生産や顧客の要望も臨機応変に対応できる体制を強化。また多様な働き方に対応し、日勤勤務者の作業スペースを確保すると同時に作業工程の一部を自動化させ省人化も実現。食品業界ではフードロスの観点から賞味期限の見直しや延長が求められており、包装資材を高機能フィルム製品への切り替えを促進する。

また環境配慮についても、屋上の約半分のスペースに太陽光設備を設置し自工場のエネルギーとして活用し、ドライラミ接着剤を硬化させる設備に「エージングBOX」を採用することで、温風調整消費エネルギー削減とCO₂削減に寄与する。廃熱を利用したサーモコイルを導入し、エネルギー(LPガス)の使用量を3割削減し、さらにCO₂の削減にも貢献する。また門司工場全体の稼働印刷機が増えることにより、水性グラビア印刷への取り組みを積極的に進める。

鉄骨造3階建てで、延床面積は7917.65平方メートル(2395.1坪)。設備投資額は約40億円。着工は2023年5月下旬。操業開始は2024年6月の予定。

■デリカフーズ、大阪府茨木市に新工場「デリカフーズ大阪事業所大阪FSセンター(仮称)」を建設

デリカフーズは、関西エリアの新工場として「大阪FSセンター(仮称)」を大阪府茨木市南目垣1丁目に

建設する。

新工場では、既存のFSセンターと同様にスーパーコールドチェーン(4℃以下)の構築、オートメーション化による省人製造ラインの導入やISO22000およびFSSC22000承認取得を計画し、高品質で安全・安心な商品の提供を目指す。



敷地面積は4621平方メートル(1398坪)、鉄筋鉄骨地上3階建て。延床面積は5455.32平方メートル(1650坪)。竣工予定は2024年3月29日。投資額は総額41億円。

■カゴシマパッカーズ、鹿児島市南栄の工場を増設

ティーバッグ製造のカゴシマパッカーズは、大手量販店からの緑茶ティーバッグ製品の受注に対応するため、鹿児島市南栄3丁目6番19号の工場を増設する。南栄工場は6月の稼働開始を目指す。建物面積は334.32平方メートル(101.13坪)。

■グンゼ、メディカル事業の成長加速に向けて京都府綾部市の綾部工場に新棟建設

グンゼは、メディカル事業の基盤強化とさらなる成長加速のため、2025年3月完成を目標に京都府綾部市の綾部工場の新棟建設と新規設備への投資を行う。投資金額は約17億円。

2024年3月より順次稼働し、縫合補強材や人工皮膚のグローバルでの売上拡大、骨接合材の製品ラインナップ拡充による国内トップシェア維持と拡大を進める。また4月1日付でメディカル事業の一部を100%連結子会社であるグンゼメディカル株式会社に吸収分割してメディカル事業を統合することで研究から販売までを一気通貫する総合医療機器専門の組織体制としてスタートしている。

海外

■アズビル、海外事業強化にともなってタイの生産子会社に新工場棟建設

アズビルは、海外事業展開に合わせたグローバル生産体制のさらなる拡大・強化を図るため、タイのチョンブリー県にある生産子会社アズビルプロダクションタイランドに新しい工場棟を建設する。



アズビルプロダクションタイランドは、工業向け温度調節計、各種センサから空調用コントローラまで多岐にわたり、東南アジア諸国、東アジア各国に向けた製品の生産、直接の出荷拠点となっている。新工場棟建設は、海外事業拡大によって見込まれる需要の拡大に対応し、工業市場向けの電磁流量計、差圧発信器といった高度な生産技術を要する多様な製品を求める海外顧客のニーズに応えるため、さらなる生産能力の強化、生産品目の拡大を図るもの。

建築面積は6069平方メートル。延床面積は1万5064平方メートル。投資金額は約15億円。建設完成時期は2024年春。

■三菱ガス化学、電子材料海外生産子会社の生産能力増強

三菱ガス化学は、BT積層材料の生産子会社MGCエ

レクトロテクノの子会社MGC ELECTROTECHNO(THAILAND) CO.,LTD.(タイ)の半導体パッケージ用BT積層材料の生産能力増強のため、新棟を建設する。

生産能力を現在から約2倍とし、半導体市場の成長と共に復活する需要に充分・確実に応えていく。

■富士フイルム、台湾に最先端半導体材料の工場新設&既存工場も設備増強 投資金額150億円

富士フイルムは、電子材料事業のさらなる拡大のため、台湾の新竹市湖口工業団地に最先端半導体材料の工場を新設する。半導体材料の台湾現地法人であるフジフイルムエレクトロニクスマテリアルズタイワンが、台湾新竹市に新たな土地を取得し、CMPスラリーやフォトリソ周辺材料を生産する新工場を建設。2026年春に稼働させる予定。

また、台南市善化區南部科学園區にある既存工場(台湾第3工場)でも設備増強を実施。建設中の新棟にCMPスラリーの製造設備などを導入し、2024年春に稼働させる計画。

なお、新工場の建設と既存工場への設備増強をあわせた設備投資額は、約150億円。

Just in your products
Just Products

挑戦する盤メーカーをサポートする会社

コスト、生産性、脱炭素。
それだけにどまらない、
銅バー加工の外注化の
メリットをお伝えします。

株式会社ジャストプロダクツ

JAPAN UNIX

世界の製造業が採用
IPC 品質標準規格

グローバルに通用する製品品質を備え、
世界各地での躍の第一歩に――

IPC

ジャパンユニックスでは
IPCの標準規格書・情報・サービスを
提供しています

卓上型はんだ付ロボット UNIX-DF シリーズ

- 『Soldering Manager』ではんだ付のIoT化へ
ジャパンユニックス独自のはんだ付ロボット管理ソフトウェア・『Soldering Manager』を使用して
モニタリング・稼働ログの保存が可能
- 3D ソルダリングの実現
付加軸2軸を加えた6軸同時制御により
ロボット操作のみで複雑形状の製品へのはんだ付が容易に

ジャパンユニックス製品 導入事例集 webにて公開 『はんだ付 導入事例』で 検索

IPC 標準規格書 無料版 まずはwebからダウンロード 『IPC』『規格』『無料』で 検索

株式会社 ジャパンユニックス
http://www.japanunix.com

本社 〒107-0052 東京都港区赤坂2-21-25 Tel. 03-3588-0551 Fax. 03-3588-0554
大阪営業所 Tel. 06-6190-4580 Fax. 06-6190-4581 名古屋営業所 Tel. 052-679-2111 Fax. 052-679-2112 テクノセンター Tel. 096-287-4501 Fax. 096-287-4503